# 「人と地域」の位置づけについて

## 今回提示する柱立ての再整理の内容

### 第6回部会までの整理

- 「めざす将来の姿」、「政策分野」、「重点施策」に共通する 世として、「人と 地域」、「活力」、「安全・安心」、「思いやり」の 4つを設定。
- 「人と地域」については、「活力」、「安全・安心」、「思いやり」の**3つの柱 を牽引し、基礎となるもの**とする。



## 再整理後の内容

- 「人と地域」は、県づくりの基本として、「活力」、「安全・安心」、「思いやり」の3つの柱を支える「ふくしまの礎」として位置づける。
- 〇 「活力」、「安全・安心」、「思いやり」を「礎」である「人と地域」に置き、 「ふくしまを支える3つの柱」として位置づける。

## 再整理を行う理由

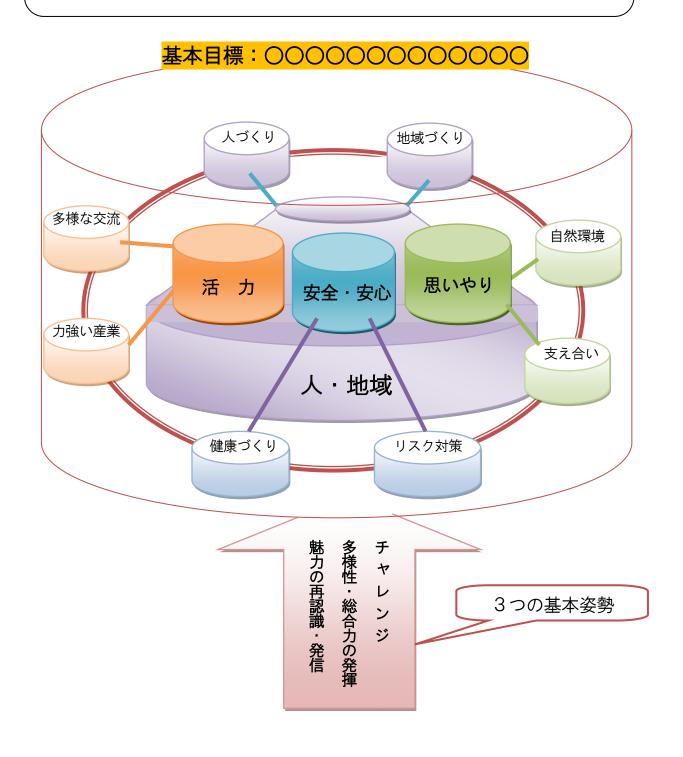
- 「人と地域」は、産業振興、県民の安全確保、自然環境保護等、「活力」、「安全・安心」、「思いやり」の3つの柱すべての施策の展開のために共通して必要になるものであるとともに、県政の根幹となる大切な理念としての側面を持っており、他の3つの柱とは異なり、特に重視すべきものであることから、その違いをより明確に示すべき。
  - ※ 部会委員より「人と地域」は、特に重視すべき視点との指摘を頂いている。
  - ※ 県議会の新しい総合計画調査検討委員会においても同様の意見が出されている。

## 補足

- 「人と地域」に係る**主要な施策**(教育、文化・スポーツ、分権型社会の推進、地域づくり、 過疎・中山間地域振興等)については、3つの柱に分割してしまうよりも、まとめて提示し た方が、県民に対して「人」と「地域」をより大切にしていることを分かりやすく示すこと ができるため、これまで同様、「人と地域」にも施策を連ねる。
- 「人と地域」が県政の根幹となる理念としての側面を有することに対応して、**基本目標は、** 「人」と「地域」を中心に据えた内容とすることを検討する。

## ~「ふくしまの礎(いしずえ)」 と「 3 つ の 柱 」~

県づくりの根幹であり基本となる<u>「人と地域」</u>を**ふくしまの礎**として掲げる。 そこに**ふくしまを支える3つの柱として**<u>「活力」「安全・安心」「思いやり」</u>を構築する。 ふくしまの礎、3つの柱から、8つの政策分野、22の重点施策を展開する。



### 「ふくしまの礎」と「3つの柱」を構成する重点施策

# ふくしまの礎

#### 【礎】 人と地域が輝く「ふくしま」

### 1 子どもから大人まで一人ひとりの輝きが見いだせる社会

- (1) 子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現
- (2) あらゆる場面で人々がはつらつとして活躍する社会の実現
- (3) 文化やスポーツなどによる自己実現の場づくり

#### 2 魅力と個性にあふれた地域社会

- (1) 力強さに満ちた地域づくりと分権型社会への対応
- (2) 地域住民と多様な主体でともに支える過疎・中山間地域
- (3) 個性的で活力に満ちた電源立地地域

## ふくしまを支える3つの柱

#### 【柱 I 】 いきいきとして活力に満ちた「ふくしま」

- 1 地域に根ざした力強い産業に支えられた社会
  - (1) 力強い産業の多彩な展開
  - (2)農林水産業の持つ底力の発揮
  - (3)産業を支える多彩な人々の活躍

#### 2 多様な交流ネットワークに支えられた社会

- (1)多様な地域との交流・連携と二地域居住の拡大
- (2) 国内外の観光と国際交流の拡大
- (3)交流と連携強化のための基盤づくりと活用

#### 【柱Ⅱ】 安全と安心に支えられた「ふくしま」

#### 1 だれもが健康で安心して暮らせる社会

- (1) 生涯を通じた健康づくりの展開
- (2) 安心できる地域医療体制の充実
- (3) 高齢者や障がい者に対する多様な福祉サービスの充実

#### 2 様々なリスクに対して安全で安心できる社会

- (1)身の回りの安全と安心の確保
- (2)災害など不測の事態に対する備えの充実
- (3) 安全で安心な生活を支える社会基盤の提供

### 【柱Ⅲ】 人にも自然にも思いやりにあふれた「ふくしま」

#### 1 支え合いの心が息づく社会

- (1) 多様な人々がともに生きる社会の形成
- (2) 思いやりと支え合いの心に満ちた社会の実現

#### 2 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会

- (1)美しい自然環境の継承
- (2)環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会への転換